

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6763 URL <http://www.noble-j.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一柳 和夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理室管掌 (氏名) 小田切 純夫 (TEL) 044-422-3831  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,973	6.0	94		170		1,010	
24年3月期第3四半期	10,614	11.3	709		860		1,581	

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,128百万円(%) 24年3月期第3四半期 1,797百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	20.71	20.67
24年3月期第3四半期	32.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	19,630	16,737	83.4
24年3月期	19,991	16,181	79.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 16,371百万円 24年3月期 15,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		2.50		2.50	5.00
25年3月期		2.50			
25年3月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	0.1	100		100		800		16.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 1社(社名) 華南富貴電子株式会社

(注) 詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	50,709,167株	24年3月期	50,709,167株
25年3月期3Q	1,889,761株	24年3月期	1,950,723株
25年3月期3Q	48,789,438株	24年3月期3Q	48,720,736株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. 補足情報 .....	11
製品別販売実績 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、金融不安が続く欧州と財政問題を抱える米国、これらの影響を受けて減速が顕著になった中国をはじめとする新興国と、世界的に不安定かつ不透明な状況が続きました。

震災復興需要などにより持ち直してきたわが国の経済は、このような世界経済の影響を受け輸出が減少するとともに、生産の多くを依存する新興国での賃金の大幅な上昇もあり、先行き不透明な状況にあります。

当社グループの属するエレクトロニクス業界は、スマートフォンやタブレットPC、それに自動車電装向けと限られたマーケットのみが好調でした。

このような状況の中で当社グループは、収益改善にグループを挙げて取り組んでまいりました。タイに於ける洪水災害からの復旧・復興を目指し、タイの2社工場を統合した新工場が復旧をはたす中、復興に向けて進行中であります。ベトナムでは生産拡大の為に新棟を建設し、生産能力増強、効率の向上を図ってまいりました。インドネシアでは原価低減を緊急課題として取り組んでまいりました。中国においては、淮安の新会社での生産を早急に軌道に乗せるよう無錫の生産会社と連携して努力してまいりました。また、販売面では、各地域において新規市場の開拓と新規顧客への拡販を積極的に進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は99億73百万円（前年同期比6.0%減）となりました。営業損失は94百万円（前年同期は7億9百万円の営業損失）、経常利益については為替差益が1億4百万円あったため1億70百万円（前年同期は8億60百万円の経常損失）となりました。四半期純利益についてはタイ王国での洪水被害に伴う保険金収入9億円もあり、10億10百万円（前年同期は15億81百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 電子部品

ミラーレス一眼などデジタルカメラ向けが引き続き順調に伸びました。自動車電装向けは日系自動車メーカーの中国における生産減少の影響を受けましたが、期を通しては好調でした。一方、薄型テレビ向けや暖房機向けの減少が顕著でした。前面操作ブロック（ICB）製品は全体としては横ばいでしたが、可変抵抗器、固定抵抗器は総じて減少しました。

この結果、電子部品の売上高は96億39百万円（前年同期比6.0%減）となり、営業損失は53百万円（前年同期は6億27百万円の営業損失）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

#### a. 日本

自動車電装向けやヘルスケア向けが引き続き好調でしたが、暖房機向けは災害復興需要のあった昨年の反動で減少しました。

この結果、売上高は52億55百万円（前年同期比0.9%減）となり営業利益は51百万円（前年同期は34百万円の営業損失）となりました。

b. アジア

デジタルカメラ向け、ゲーム機向け、自動車電装向けなどが好調でしたが、薄型テレビ向けやパソコン関連向けが低調でした。

この結果、売上高は40億53百万円（前年同期比12.9%減）となり営業損失は1億円（前年同期は5億83百万円の営業損失）となりました。

c. 北米

オーディオ向けなど総じて堅調で、薄型テレビ向けが増加しました。

この結果、売上高は3億30百万円（前年同期比10.3%増）となり営業利益は1百万円（前年同期は13百万円の営業損失）となりました。

その他

機械設備の製造販売については中国など新興国経済の減速を受け、設備投資が減少したため総じて低調でした。

この結果、その他の売上高は3億33百万円（前年同期比6.7%減）となり営業損失は51百万円（前年同期は90百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ3億61百万円減少し196億30百万円となりました。その内訳は、流動資産が5億83百万円減少し117億86百万円、固定資産が2億21百万円増加し78億43百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ9億17百万円減少し28億92百万円となりました。その内訳は、流動負債が9億7百万円減少し23億57百万円、固定負債が10百万円減少し5億34百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ5億56百万円増加し167億37百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の79.2%から83.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

日本では政権交代を機に株価の上昇や円安ドル高が続いておりますが、世界経済は引き続き不透明であり、中国をはじめとする新興国経済の停滞は深刻な影響を与える可能性があります。

当社においてはデジタルカメラ向けや自動車電装向けの新機種が立ち上がっておりますが、当第3四半期から減速が始まった中国自動車市場などグローバル市場の動向を考慮して慎重に見直しを行っており、業績予想の修正が必要になった場合には速やかにお知らせいたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

華南富貴電子(株)は、清算手続き中であり重要性が無いため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,889,644	4,765,105
受取手形及び売掛金	3,926,436	4,119,745
商品及び製品	1,070,205	1,022,620
仕掛品	622,665	665,419
原材料及び貯蔵品	816,373	790,391
その他	1,051,051	432,936
貸倒引当金	6,825	9,920
流動資産合計	12,369,551	11,786,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,168,761	2,068,361
機械装置及び運搬具(純額)	1,087,098	1,551,377
その他(純額)	1,241,096	988,703
有形固定資産合計	4,496,956	4,608,442
無形固定資産		
	126,028	123,678
投資その他の資産		
投資有価証券	1,393,361	1,308,782
関係会社出資金	330,800	455,480
その他	1,280,906	2,218,944
貸倒引当金	6,076	871,621
投資その他の資産合計	2,998,991	3,111,586
固定資産合計	7,621,975	7,843,707
資産合計	19,991,526	19,630,005
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,254,343	1,294,475
短期借入金	151,243	185,343
未払法人税等	43,163	54,526
賞与引当金	294,819	192,106
その他	1,521,412	631,159
流動負債合計	3,264,981	2,357,611
固定負債		
退職給付引当金	173,446	185,701
その他	371,538	348,980
固定負債合計	544,985	534,681
負債合計	3,809,967	2,892,293

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	9,362,590	9,801,023
自己株式	981,223	948,388
株主資本合計	17,290,758	17,762,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188,435	134,414
為替換算調整勘定	1,651,181	1,524,619
その他の包括利益累計額合計	1,462,745	1,390,204
新株予約権	8,176	4,632
少数株主持分	345,370	361,257
純資産合計	16,181,559	16,737,711
負債純資産合計	19,991,526	19,630,005



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	10,614,755	9,973,136
売上原価	8,390,570	7,379,893
売上総利益	2,224,185	2,593,243
販売費及び一般管理費	2,933,848	2,687,805
営業損失( )	709,663	94,562
営業外収益		
受取利息	12,325	16,139
受取配当金	29,960	52,619
受取賃貸料	105,687	82,376
為替差益	-	104,924
その他	69,990	107,097
営業外収益合計	217,963	363,158
営業外費用		
支払利息	560	689
固定資産賃貸費用	42,213	34,998
貸倒引当金繰入額	-	43,900
為替差損	295,693	-
その他	30,375	18,139
営業外費用合計	368,842	97,727
経常利益又は経常損失( )	860,543	170,867
特別利益		
固定資産売却益	7,549	-
保険解約返戻金	31,431	-
受取保険金	-	900,527
災害損失戻り益	-	36,769
特別利益合計	38,981	937,296
特別損失		
災害による損失	685,743	-
特別損失合計	685,743	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	1,507,306	1,108,164
法人税等	60,481	75,362
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	1,567,787	1,032,801
少数株主利益	13,371	22,302
四半期純利益又は四半期純損失( )	1,581,158	1,010,499

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	1,567,787	1,032,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,491	53,849
為替換算調整勘定	183,316	149,338
その他の包括利益合計	229,808	95,489
四半期包括利益	1,797,595	1,128,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,777,341	1,083,040
少数株主に係る四半期包括利益	20,254	45,250

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	10,257,248	357,507	10,614,755		10,614,755
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,238	471,337	492,575	(492,575)	
計	10,278,486	828,844	11,107,331	(492,575)	10,614,755
セグメント損失( )	627,274	90,649	717,924	8,260	709,663

(注)1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	5,304,489	4,652,951	299,806	10,257,248		10,257,248
地域間の内部売上高 又は振替高	4,345,375	4,852,471		9,197,847	(9,176,608)	21,238
計	9,649,865	9,505,423	299,806	19,455,095	(9,176,608)	10,278,486
地域別損失( )	34,323	583,404	13,119	630,847	3,572	627,274

2. セグメント損失( )の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失( )と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	9,639,559	333,577	9,973,136		9,973,136
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,387	449,213	457,600	(457,600)	
計	9,647,946	782,790	10,430,737	(457,600)	9,973,136
セグメント損失( )	53,578	51,158	104,737	10,174	94,562

(注)1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	5,255,199	4,053,715	330,644	9,639,559		9,639,559
地域間の内部売上 高又は振替高	3,976,584	3,783,215		7,759,800	(7,751,413)	8,387
計	9,231,783	7,836,931	330,644	17,399,359	(7,751,413)	9,647,946
地域別利益又は損失 ( )	51,933	100,453	1,998	46,522	7,056	53,578

2. セグメント損失( )の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失( )と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

製品別販売実績

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック(千円)	4,015,665	37.8	4,013,976	40.2	100.0
可変抵抗器(千円)	2,785,596	26.2	2,219,032	22.3	79.7
固定抵抗器(千円)	1,087,387	10.3	907,935	9.1	83.5
その他(千円)	2,368,599	22.3	2,498,614	25.1	105.5
小計(千円)	10,257,248	96.6	9,639,559	96.7	94.0
その他					
その他(千円)	357,507	3.4	333,577	3.3	93.3
小計(千円)	357,507	3.4	333,577	3.3	93.3
合計(千円)	10,614,755	100.0	9,973,136	100.0	94.0